

「2013 年度 事業報告」

1. 2013 年度事業報告について

早稲田大学男女共同参画推進委員会は、2008 年 12 月に発表した 2017 年度までの中長期計画「男女共同参画基本計画」の実現に向けて、次のとおり、2013 年度の事業を実施した。

2013 年度の事業の中で特筆すべき点としては、女性専任職員懇談会の中で明らかになった問題点を報告書にまとめ人事部に提出、新たな職員研修の提案につなげたこと、全専任教職員を対象に、「早稲田大学の男女共同参画に関する意識・実態調査」を実施、報告書を作成したこと、『2008-2012 年度ワークライフバランス・サポートセンター活動報告書』を作成したこと、各キャンパスの女子トイレの環境調査を実施し、必要な改修を要請したこと、戸山キャンパスに授乳・搾乳室を設置し、運用を開始したことなどがある。

また、男女共同参画推進委員会の下にある 4 つの部会を、「Waseda Vision150」の核心戦略の中で設置した「男女共同参画・ダイバーシティの推進 PJ」の WG と位置付けて、推進委員会の活動とプロジェクトとの一体化を図ったことなどが挙げられる。

2. 2013 年度の具体的事業報告

1) 女性専任教員比率の向上

- ① 2013 年度は、理工系女子学生支援作業部会を立ち上げた理工学術院へ男女共同参画の取り組みに関するアンケートを実施し、学術院長らとの懇談を行った。
- ② 「Waseda Vision 150—男女共同参画・ダイバーシティの推進 PJ」と連携し、2013 年 8 月 1 日、シンポジウム「大学における男女共同参画の現状と課題」を開催した。

2) 女性専任職員および女性管理職比率の向上

- ① 女性管理職比率が低迷する原因を明らかにし、比率を改善することを目的に、30 代後半から 40 代前半の女性専任職員を対象にした女性職員懇談会を以下のとおり実施した。

比較的ワークライフバランスが取れている職員がいる一方、育児時間等の諸制度があるにも関わらず、管理職の理解や認識不足から育児時間が取得できない等、切実な問題を抱えている職員も多いことがわかった。この懇談に先立ち、30 代後半から 40 代の女性職員を対象に行ったアンケートの結果に、前年度に実施した 2 回分（2012 年 7 月と 2013 年 1 月）も加えた計 4 回分のアンケート集計結果を人事部長に提出した。

○女性職員懇談会

懇談実施日	場所	参加者数	委員会側参加者
2013/07/10	早稲田キャンパス大隈会館 N203 会議室	7 名	桜井副委員長ほか 3 名
2013/10/15	早稲田キャンパス大隈会館 N305 会議室	6 名	桜井副委員長ほか 3 名

3) 男女共同参画推進に対する教職員の意識向上

- ① 新規採用の教職員を対象とした以下の研修に、男女共同参画の講義を盛り込み、本学の「男女共同参画基本計画」を周知するとともに、男女共同参画推進への理解を深め、意識

の共有化を図った。

○新入教職員への研修

研修実施日	研修名	場所	対象者	講師
2013/04/02	新任教員セミナー	早稲田キャンパス8号館 B101 教室	122名	橋本学事総括 常任理事
2013/05/29	新入職員研修 (新卒・既卒)	早稲田キャンパス大隈会館 N301 会議室	17名	桜井副委員長

- ② 教職員・学生・一般向けのシンポジウム、啓発セミナー、講演会等を以下のとおり開催。多くの本学構成員に、本学の「男女共同参画基本計画」を周知し、理解を求める機会を提供した。また、開催報告を Web サイトに掲出したほか、推進室が主催したセミナーや講演会等については、DVD に収録し、希望者が視聴できる機会を設けたほか、授業支援システム Course N@vi にてオンデマンド配信するなど、当日参加できなかった者への配慮も図った。

○シンポジウム・講演会等の開催

開催日	内容	演題等	対象	参加人数	開催形態
2013/08/01	シンポジウム	「大学における男女共同参画の現状と課題」	教職員・学生	30名	主催
2013/10/18	講演会	「人口・リプロダクティブヘルス・ジェンダー～産む性・育てる性と私の人生～」	学生・教職員・一般	157名	主催
2013/11/09	講演会	「働く」「生きる」を考えるキャリア支援「第9回未来の自分を発見しよう」	学生	51名	協賛
2013/11/16	講演会	「支え合う力とジェンダー～二年目の福島からの声～」	学生・教職員・一般	60名	後援
2013/12/05	講演会	「科学とは何か？～科学との成り立ち、社会との関わりから科学を考える～」	学生・教職員・一般	27名	後援
主催2回・協賛1回・後援2回 計5回			計(前年比)	325名	(△123名)

4) ライフイベントサポートシステムの改善と拡充

- ① ワークライフバランス・サポートセンター(以下、サポートセンターと略)では、教職員・学生を対象とした相談事業・交流事業を実施した。

相談事業では、特にキャリア初期研究者が、研究者として自立するためのキャリア支援および出産、看(介)護等のライフイベントの両立支援、学生の就職活動についての支援が中心となった。なお、相談件数は前年度より増加した。

交流事業では、ランチョントーク&ミーティング等により、キャリア初期研究者の交流の場を充実させるとともに、教職員・学生を問わず、ライフイベントに役立つ講座やセミナーを各種開催した。なお、参加人数については前年度に比べて増加した。

○相談事業

相談件数	(1)性別		(2)属性				(3)相談内容 (重複あり)					
	男性	女性	教員	職員	学生	その他	進路	ライフスタイル	心理	バランス	就活	その他
70	13	57	7	9	51	3	3	19	3	1	44	0
前年比+16	+2	+14	±0	-1	+15	+2	-19	±0	-2	±0	+26	-6

○交流事業

開催日	内容	演題等	対象	参加人数	開催形態
2013/06/25	セミナー	表現力UP講座第1弾 「プレゼン力UP講座」	学生・教職員	44名	主催
2013/07/12	セミナー	表現力UP講座第2弾 「メール力UP講座」	学生・教職員	46名	主催
2013/07/30	セミナー	表現力UP講座第2弾 「言語表現力UP講座」	学生・教職員	31名	主催
2013/08/30	セミナー	「言語表現力UP講座」パートⅡ	学生・教職員	4名	主催
2013/09/26	セミナー	「ストレス対処力UPワークショップ」	学生・教職員	14名	主催
2013/10/01	ランチョン・ミーティング	「強みを知ってステップアップ」 (早稲田)	学生・教職員	5名	主催
2013/10/30	ランチョン・ミーティング	「強みを知ってステップアップ」 (所沢)	学生・教職員	0名	主催
2013/11/06	ランチョン・ミーティング	「強みを知ってステップアップ」 (戸山)	学生・教職員	10名	主催
2013/11/13	ランチョン・ミーティング	「強みを知ってステップアップ」 (西早稲田)	学生・教職員	4名	主催
2013/11/28	セミナー	ワークライフバランス講座「大人生活を充実させるヒケツ」	学生・教職員	25名	主催
2014/01/16	セミナー	介護講座「男性も担い手 これから介護を考える」	学生・教職員	15名	主催
主催 11回	計 11回		計(前年比)	198名	(+31名)

- ② 戸山キャンパス 33号館地下1階(保健センター戸山分室隣)に、授乳室をオープンさせた。
- ③ サポートセンターの5年間の活動報告を『2008～2012年度ワークライフバランス・サポートセンター活動報告書』にまとめ、公表した。
- ④ 男女共同参画推進室のサポート施設利用者については、早稲田・西早稲田キャンパスともに減少傾向にある一方で、子ども連れの利用は増加した。利用者減少の原因の一つに、搾乳の利用が減少したことがある。推測される要因としては、搾乳が必要な女性がいなかった、育児休職制度の浸透により必要がなくなった、あるいは、戸山キャンパスの無人授乳室の利用などが挙げられる。

○施設利用者

施設名	a. 開室日 数	b. 利用者数	b./a. 日平均	b.内訳 男性	女性	子供
早稲田キャンパス10-213 事務所・相談室 (前年比)	202.3日	344名 (△433名)	1.7名 (△1.6名)	207名 (△140名)	122名 (△295名)	15名 (+2名)
西早稲田キャンパス60-214・ 216 ワークライフバランス・サポートセンター (前年比)	241.4日	408名 (△171名)	1.7名 (△0.9名)	220名 (△47名)	173名 (△130名)	15名 (+6名)
	計 (前年比)	752名 (△604名)	—	427名 (△187名)	295名 (△425名)	30名 (+8名)

- ⑤ サポートセンター相談員の研修を目的として、学内外の以下のシンポジウム・講演会・セミナー等に相談員を派遣した。

○研修

開催日		内容
2013/05/25	学内	「いま問い直す就活との向き合い方」
2013/05/31	学外	労働政策フォーラム「仕事と介護の両立支援を考えるー仕事意欲の維持向上と離職を防ぐために」
2013/06/01	学外	学校におけるコミュニティアプローチ
2013/06/13	学外	公開講演会「現代日本社会における男性問題」
2013/06/28	学外	平成25年度男女共同参画社会に向けての全国会議
2013/07/13	学外	労働政策フォーラム「アンダークラス化する若年女性ー労働と家庭からの排除ー」
2013/08/28	学内	WIneST トークセッション2013「理工版『ウーマニクス』は日本を救う?!」
2013/08/31	学外	THP25周年記念フォーラム「いきいきと働き続けるための心とからだの健康を考える」
2013/09/10	学外	労働政策フォーラム「大学新卒者の就職問題を考えるー大学・企業・行政の取り組み」
2013/09/28	学外	いじめ防止対策推進法ーその精神と具体策ー
2013/11/08	学外	東京ウィメンズプラザフォーラム
2013/11/09	学内	稲門女性ネットワーク「働く」「生きる」を考えるキャリア支援「第9回未来の自分を発見しよう」
2013/11/16	学内	シンポジウム「支え合うジェンダーー二年目の福島からの声ー」
2013/11/29	学外	大学等における男女共同参画推進セミナー
2013/11/30	学内	父母向け就職ガイダンス
2013/12/03	学外	心とからだの健康づくり指導者等のための実施向上研修
2013/12/09	学内	ゲートキーパー養成講演会

- ⑥ 『2008～2012年度ワークライフバランス・サポートセンター相談活動報告書』を作成し、Webサイト上で公表した。

- ⑦ 出産・育児・看(介)護等(ライフイベント)を支援するシステムを充実させるために、すでに学内にあるライフイベントサポート諸制度(大学の福利厚生事業、健康保険組合の保

健事業「Benefit Station」による業務委託分)の確認を行い、リーフレットやニュースレター、Web サイトにおいて適宜周知を行った。

5) キャリア初期研究者への支援

- ① キャリア初期研究者からサポートセンターに寄せられた相談のうち、大学への要望等があるものについては、学内関係箇所にもどのように働きかけていくか検討した。

6) 女子学生の就職・進学支援

- ① 2013 年度も、オープン教育センター設置の男女共同参画への導入講座、「女性・しごと・ライフデザイン」、「ウーマン・キャリアクリエイト講座」を継続して開講した（「科学とジェンダー」は休講）。

○関連科目の開講・登録者数

科目名/担当教員	学期	2013 年度	(前年比)
女性・しごと・ライフデザイン/矢口徹也ほか	春学期	44 名	(+4 名)
ウーマン・キャリアクリエイト講座/並木秀男ほか	秋学期	200 名	(±0 名)

- ② 2013 年 11 月に、女子学生の進学・就職支援のため、稲門女性ネットワーク (TWN) ・キャリアセンターと連携して、主に、女子学生を対象としたキャリア支援セミナー「第 9 回自分の未来を発見しよう～OG と考える「これが私の生きる道」～」を開催した。

7) 人権・ジェンダー・労働に関わる教育・研究の推進

- ① 関連科目のデータベース化と補完・強化すべき分野を検討し、2013 年度開講科目について、男女共同参画に関連するキーワードによる抽出作業を行い、Web サイトで科目を紹介した。
- ② オープン教育センターが設置する、新入生を対象としたオンデマンド 授業「わせだらイフ ABC」に盛り込む男女共同参画に関するコンテンツを引き続き提供した。
- ③ 講演会・シンポジウムの模様を男女共同参画推進室提供講座として、授業支援システム Course N@vi にて、オンデマンド配信した。

○オンデマンド授業

科目名/テーマ名/講師	2013 年度 受講者数
わせだらイフ ABC/男女共同参画とは何かを考えてみよう/川田委員長	301 名
[男女共同参画推進室提供講座] 女性への大学教育の開放：早稲田大学の場合－彼女たちは彼女たちから始まった－(2009 年 10 月 19 日収録)	192 名
[男女共同参画推進室提供講座] クメンによるワークライフバランス講座～ファザ－リングが社会を変える！～(2011 年 10 月 21 日収録)	160 名
[男女共同参画推進室提供講座] クメンによるワークライフバランス講座第 2 弾	253 名

これからの日本企業での働き方～ダイバーシティ・マネジメント実践術～ (2012年10月19日収録)	
〔男女共同参画推進室提供講座〕 シンポジウム「大学における男女共同参画の現状と課題」 (2013年8月1日収録)	109名

8) 国内外の大学および研究機関との交流

- ① 学内他箇所が主催する男女共同参画に関連するイベントについては、協賛・後援箇所等として支援し、Web サイトやニュースレターに案内や報告を掲載。
- ② 委員会委員・部会委員・事務局スタッフは、学内外のワークショップ・シンポジウム・講演会等の講師を務めるほか、積極的に参加し、情報収集、意見交換を実施。
- 参加講演会・シンポジウム等

開催日	主催者	演題等	参加形態
2013/05/25	学内(文化構想学部)	シンポジウム 「いま問い直す就活との向き合い方」	聴講
2013/05/31	独立行政法人 労働政策研究・研修機構(JILPT)	労働政策フォーラム 「仕事と介護の両立支援を考えるー仕事意欲の維持向上と離職を防ぐためにー」	一般参加
2013/06/13	共立女子大学	公開講演会「現代日本社会における男性問題ー女子大生よ、これが男性学だ！」	聴講
2013/06/28	内閣府	平成 25 年度男女共同参画社会に向けての 全国会議「いまこそ、女性の活躍を～みんな で考え、みんなで変える!～」	一般参加
2013/7/13	独立行政法人 労働政策研究・研修機構(JILPT)	労働政策フォーラム「アンダークラス化する若年女性ー 労働と家庭からの排除」	一般参加
2013/07/18	化学工学会男女 共同参画委員会	「女性技術者ネットワーク」	一般参加
2013/09/10	独立行政法人 労働政策研究・研修機構(JILPT)	労働政策フォーラム「大学新卒者の就職問題を考 えるー大学・企業・行政の取組み」	一般参加
2013/11/08	東京ウイメンズプラザ	東京ウイメンズプラザフォーラム 「ここから始まる輝く未来」	一般参加
2013/11/11	文部科学省	文部科学省科学技術人材育成費補助事業 女性研究者研究活動支援事業シンポジウム 2013ー世界で活躍できる理系女性研究者の 育成ー	一般参加
2013/11/16	(学内) ジェンダー 研究所	シンポジウム 「支え合う力とジェンダーー～二年目の福島 からの声～」	聴講
2013/11/21	男女共同参画 学協会連絡会	12期 第1回運営委員会	一般参加
2013/11/29	国立女性教育会 館	「大学等における男女共同参画推進セミナー」	一般参加
2012/12/06	化学工学会男女 共同参画委員会	「女性技術者ネットワーク」	講師
2014/03/19	化学工学会	女性技術者フォーラム 「女性技術者が切り拓くエネルギー・環境問題 の最前線」	演者

9) 長期的な展望にたつ男女共同参画の推進

- ① 2008年12月に発表した中長期計画「男女共同参画基本計画」の実現、さらに、2012年11月に発表した「Waseda Vision 150」の目標達成に向けて、2013年度事業計画を実施するとともに、男女共同参画・ダイバーシティの推進PJと連携し、実行可能な取り組みについて検討した。また、2012年度の事業報告を作成し、Webサイト上で広く学内外に公表するとともに、その報告内容・実績を踏まえ、2014年度事業計画を策定した。なお、事業の実施と計画立案にあたり、以下のとおり、委員会・部会等を開催した。

○会議等の開催状況

会議体名	開催数	開催日・回
委員会	4回	5/23 第16回(第3期5回)、6/20 第17回(第3期6回)、11/21 第18回(第4期1回)、2/6 第19回(第4期2回) ※幹事会の開催なし
教育研修部会	2回	7/5 第25回(第3期6回)、11/22 第26回(第4期1回)
制度環境部会	4回	5/31 第28回(第3期6回)、7/19 第29回(第3期7回)、9/19 第30回(第3期8回)、11/13 第31回(第4期1回)
広報調査部会	4回	5/27 第28回(第3期6回)、7/11 第29回(第3期7回)、10/9 第30回(第3期8回)、12/13 第31回(第4期1回)
サポートセンター部会	5回	6/12 第19回(第3期7回)、7/17 第20回(第3期8回)、10/12 第21回(第3期9回)、1/27 第22回(第4期1回) 3/5 第23回(第4期2回)

- ② 2013年度末の事務局体制は次のとおり、2012年度末と比べ増減はなかった。

スタッフ数：6名（内訳：管理職1、専任職員2、派遣1、相談員2）2014年3月現在

10) 男女共同参画に必要な各種調査の実施

- ① 前回（2008年）の調査から5年が経過した2013年7月に、全専任教職員を対象にした「早稲田大学の男女共同参画に関する意識・実態調査」を実施。調査結果を報告書に取りまとめ、2014年3月発行の学内広報紙『CAMPUS NOW 特別号』第3021号に掲載。Webサイトにも掲載し学外にも公表した。
- ② 他大学・学外機関からの調査等について、以下のとおり協力した。

○学外からの調査依頼等

依頼月	依頼機関	調査内容
2013/04	環太平洋大学協会（APRU）	女性の学内でのポジション等に関するアンケート
2013/07	東京都生活文化局都民生活部	男女共同参画に係る調査
2013/08	日本私立学校振興・共済事業団	平成25年度私立大学等経常費補助対象事業に係る調査
2013/08	日本学術会議	男女共同参画に関するアンケート調査
2013/09	日本経済新聞社産業地域研究所	大学の地域貢献度に関する全国調査2013
2014/01	文部科学省 生涯学習政策局男女共同参画学習課	「男女共同参画を推進する教育・学習」の実態把握と質の向上に関するアンケート調査
2014/01	文部科学省 科学技術学術政策局 人材政策課人材政策推進室	女性研究者支援に関する取組に関する調査

11) 男女共同参画の進捗状況の周知

- ① 本学における男女共同参画推進の取り組み、現状や制度の概要等を紹介することを目的としたリーフレット（2種類）とポスターを発行した。

○リーフレット

タイトル	発行年月	発行部数	配布対象
専任教職員用 早稲田でも進めています男女共同参画	2013/10	5,000部	専任教職員
ワークライフバランスサポート案内	2013/10	25,000部	全ての教職員(非常勤・派遣も含む)・大学院学生、希望する学部学生

○ポスター

タイトル	発行年月	発行部数	配布対象
早稲田でも進めています男女共同参画 Gender Equality at Waseda University	2014/3	200部	学内全箇所

- ② 2009年3月に創刊したニューズレターについて、引き続き、2013年10月に第10号を発行、さらに、2014年4月発行の第11号の校正編集作業を実施した。

○ニューズレター

タイトル	発行年月	発行部数	配布対象
さんかくニュースNo.10	2013/10	25,000部	全ての教職員(非常勤・派遣も含む)・大学院学生、希望する学部学生
さんかくニュースNo.11	2014/04	25,000部	

- ③ Web サイトによる情報発信の充実を図るため、男女共同参画推進に関連する学内外の情報を、ニュース・イベントとして速やかに掲出した。

ニュース・イベント掲出数：2013年度62件 ※前年比3件増

アクセス件数：2013年度10,295件（月平均約857件）※前年比711件減

- ④ 既存の学内広報物に、適宜、記事・話題を提供した。

○『早稲田ウィークリー』学生部発行

- ・1325号(2013年12月9日発行)

<早大生が行く>

講演会「人口・リプロダクティブヘルス・ジェンダー—産む性・育てる性と私の人生」に参加して

○『CAMPUS NOW』広報室広報課発行

女性研究者の活躍紹介コーナー「My study, my career」

- ・206号(2013新緑号) スポーツ科学学術院 教授 杉山千鶴

- ・ 207号(2013 盛夏号) 政治経済学術院 教授 ソジエ・内田恵美
 - ・ 208号(2013 錦秋号) 商学学術院 教授 山内 暁
 - ・ 209号(2013 新年号) 理工学術院 教授 高松敦子
 - ・ 210号(2014 早春号) 国際学術院 専任講師 東玲奈
-
- 『CAMPUS HANDBOOK 2014-2017』 学生部発行
 - ・ 「男女共同参画推進室」の紹介を掲載

 - 『留学生ハンドブック』 留学センター発行
 - ・ 「授乳室・搾乳室」掲載
 - ・ 「男女共同参画の推進について」掲載

 - 『早稲田大学なんでも相談～教員お役立ち情報～』
教務部FD推進センター(2014年度より大学総合研究センター)
 - ・ 「仕事とライフイベントとの両立について相談したい」掲載

 - 『みらい設計ハンドブック』 キャリアセンター発行
 - ・ 「男女共同参画・ワークライフバランス支援(講座・交流会・相談窓口)」掲載
 - ・ 「サポート機関一覧」に掲載

 - 『理工の達人2014』 理工学術院統合事務・技術センター技術部発行
 - ・ ワークライフバランス・サポートセンターの案内

 - 『学生対応Q&A 2014』 学生部発行
 - ・ 「ワークライフバランスに困っている学生がいる場合について」掲載

以 上